

令和3年度石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 報告

目的 失語症者のコミュニケーションの援助を行うために、失語症者の日常生活における困難さを理解し、コミュニケーションの知識や技術を身に着けた「失語症者向け意思疎通支援者」を養成する。将来的には派遣に繋げ、失語症者の生活の質と福祉の向上を図る。

内容 講義12時間 実習28時間

失語症の原因
症状など

失語症者の生活の困難さ、
どんな支援を必要としているのか

何を大切にし、
どんな関わり方を
すればいいのか

- ・ 失語症とは何か
- ・ 失語症のある人の日常生活とニーズ
- ・ 意思疎通支援者とは何か
- ・ 心構えと倫理
- ・ コミュニケーション支援技法
- ・ 外出同行支援
- ・ 派遣事業と意思疎通支援者の業務
- ・ 実習（コミュニケーション支援技法、外出同行、身体介助）

講師、失語症者との
豊富な実習
失語症者との外出

講習日程 2021年9月25日（土）～12月11日（日） 全9回

会場 金沢市ものづくり会館
能美市防災センター（外出同行支援実習）

受講者 人数 5名 修了者 **5名**
年齢 47～55歳
住所 七尾市、金沢市、かほく市、野々市市、小松市

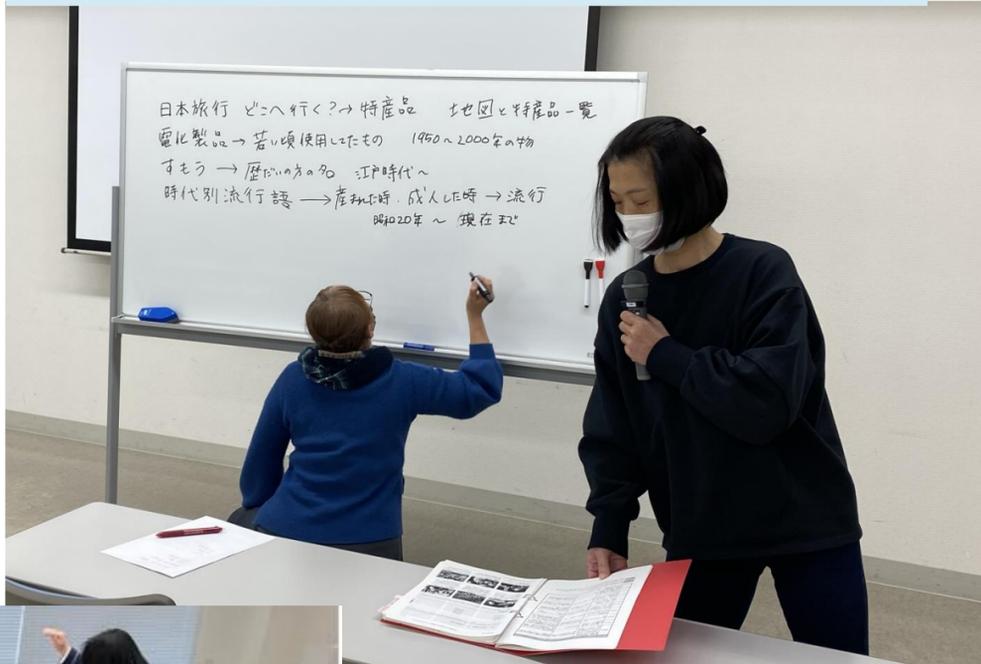
感染症対策

昨年同様、会場や当会の感染予防策を守り、アイシールド・ゴーグルや口元の見えるマスクなどの装着、体温測定、手指消毒、換気などを徹底いたしました。

講義
基礎知識を学びます。



コミュニケーション支援実習
模擬失語症者（ST）と受講者で練習後、当事者講師と会話をしました。講義で学んだ事を実践しています。



身体介助実習
理学療法士を講師に迎え、講義の後、移乗や車椅子操作などを学びました。



外出同行支援実習

能美市防災センターで実施しました。
事前に施設の確認や、安全面への配慮を学習しました。



当日は受講生1～2名に当事者1名、ST1名のグループで地震・強風・消火等の体験や3D映画の視聴後、展示コーナーを回り、その後感想などを話し合いました。



今年度の取り組み1

石川県失語証友の会**以外**の当事者講師の参加

県士会会員にご協力いただき、外来リハビリで関わっている当事者の方5名に講師として参加いただきました。

担当のSTより当事者の新たな側面が見られた、という意見や、担当のケアマジャーより社会参加の場になってよかったという意見が寄せられました。

今年度の取り組み2

失語症者向け意思疎通支援者の実習参加

昨年度の受講者で希望された方に実習に参加していただきました。

今年度の取り組み3

県士会会員の**見学**を実施

事業の理解を深めてもらうため、見学者を募集し、1名の見学がありました。

受講者の感想（一部抜粋）

- ・ 未知の世界だったので、全てがよい経験でした。
- ・ 当事者の方と直接関わる時間が多く、本当に勉強になりました。緊張の連続でしたが、新たな発見がたくさんありました。
- ・ 伝わった時の喜び、共感できたときのうれしさを感じました。
- ・ 仕事で、日頃何気なく会話していましたが、講習会に参加してから相手に合わせてゆっくり話すように心がけています。
- ・ 言いたい言葉を引き出すことが難しかったです。
- ・ 派遣事業が開始された時に自分が不安にならないよう、もっと失語症の方とコミュニケーションを取りたいです。
- ・ 失語症の方にもいろいろな方がいて、支援の仕方が違うと気付きました。

当事者講師の皆さんも実習で受講生と会話することを楽しまれ、今後とも実習に協力したいと申し出もありました。

講習会を開催して

2年目の石川県での「失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」が修了し、今年度は5名の支援者が誕生しました。昨年度の10名と合わせて「失語症者向け意思疎通支援者」は15名となりました。皆さんとても熱心に学んでおられました。

コロナ禍の情勢が続いてはありますが、今後も石川県失語症友の会や当事者の皆様、県との連携を強化し、派遣事業開始に向け継続していきたいと思います。

最後になりましたが、受講者の皆様、ご協力いただいた当事者の皆様、県士会の皆様、ありがとうございました。

